



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 南 健治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長

(氏名) 五十嵐 和彦

TEL 045-897-2425

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	28,163	△4.8	△929	—	△860	—	△1,401	—
23年3月期第3四半期	29,590	34.0	△1,672	—	△1,632	—	△2,138	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △1,489百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △2,305百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△28.36	—
23年3月期第3四半期	△43.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	54,676	15,902	29.1
23年3月期	54,250	17,492	32.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 15,902百万円 23年3月期 17,492百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では24年3月期の期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△9.2	200	△73.1	200	△75.1	△100	—	△2.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	51,926,194 株	23年3月期	51,926,194 株
24年3月期3Q	2,513,951 株	23年3月期	2,511,297 株
24年3月期3Q	49,413,697 株	23年3月期3Q	49,415,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- (1)平成24年3月期の連結業績予想の詳細は、平成24年1月31日に公表いたしました「平成24年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- (2)平成24年3月期の期末配当につきましては、当該期及び今後の業績を勘案して総合的に決定することとしており、予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示することといたします。
- (3)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 地域ごとの売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州の金融不安や円高の進行などにより、先行きの不透明な状況が続いています。

当社グループの主要顧客である液晶パネル業界はテレビ用液晶パネルの供給過剰と価格下落が続いており、大型パネルへの新規設備投資は低迷しています。一方、スマートフォンやタブレットPCなどの中小型パネルおよびタッチパネル分野は急速に成長してきましたが、設備投資が一段落し踊り場状態が続いています。半導体分野は先端分野への設備投資に積極的な動きが見られるものの、新規の量産投資には慎重な動きが続いています。また、太陽電池分野は今後需要の伸びが見込まれるものの、欧州における太陽電池市場の急減速が影響し、顧客の設備投資は低迷しています。

このような景況下、当社グループは受注活動を強化し、半導体や中小型液晶分野の顧客拡大を進めました。さらに、新規事業分野への展開を進めました。また、固定費削減および標準化・リードタイム短縮などのコスト構造改革に取り組み、人員生産性の向上、経営体質の強化や事業構造の改善を進めましたが、液晶大型パネル用装置の低調により厳しい状況が続きました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は28,163百万円（前年同期比4.8%減）、営業損失は929百万円（前年同期は営業損失1,672百万円）、経常損失は860百万円（前年同期は経常損失1,632百万円）、四半期純損失は1,401百万円（前年同期は四半期純損失2,138百万円）となりました。

主なセグメントの業績は次のとおりです。

① ファインメカトロニクス部門

液晶パネル前工程分野では、テレビ用大型パネル用装置の売上が大きく減少したものの中小型パネル用装置の売上が増加し、前年同期を上回りました。また、洗浄技術やインクジェット技術などを応用した新規事業に取り組み、成果を上げてきています。

半導体前工程分野では、ウェーハ洗浄装置およびマスク関連装置の顧客拡大が進みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は17,136百万円（前年同期比27.2%増）、セグメント利益は459百万円（前年同期はセグメント損失861百万円）となりました。

② メカトロニクスシステム部門

液晶モジュール工程分野では、テレビ用大型パネルの設備投資抑制を受け、主力のアウトリードボンダの売上が大きく減少しました。タッチパネル貼合せ装置は堅調に推移していましたが、価格が低下し、また競争が激しくなってきました。

半導体組立工程分野では、先端パッケージ分野での顧客拡大が進み、太陽電池分野では新工法対応の量産装置の顧客拡大を進めました。部門全体としては液晶大型パネル用装置の低調により、厳しい状況が続きました。

これらの結果、当セグメントの売上高は8,461百万円（前年同期比37.0%減）、セグメント損失は1,433百万円（前年同期はセグメント損失693百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ425百万円増加し54,676百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,170百万円増加し40,161百万円となりました。これは主に、現金及び預金、仕掛品が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ745百万円減少し14,515百万円となりました。これは主に、リース資産の減少及び有形固定資産が減価償却等により減少したことによります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,015百万円増加し38,773百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,589百万円減少し15,902百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月18日に公表いたしました業績予想の売上高、営業利益、経常利益には変更はありませんが、当期純利益は法人税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しが見込まれるため、通期業績予想を修正いたします。なお、当該予想に関する詳細は、本日（平成24年1月31日）に公表いたしました「平成24年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、税引前四半期純利益に法定実効税率をベースとした年間予測税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,390	4,839
受取手形及び売掛金	26,939	25,056
商品及び製品	2,138	2,608
仕掛品	4,226	5,872
原材料及び貯蔵品	314	182
繰延税金資産	1,071	635
未収入金	714	695
その他	254	329
貸倒引当金	△60	△58
流動資産合計	38,990	40,161
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,822	28,241
減価償却累計額	△16,965	△17,145
建物及び構築物(純額)	11,856	11,096
機械装置及び運搬具	976	1,535
減価償却累計額	△786	△964
機械装置及び運搬具(純額)	190	571
工具、器具及び備品	366	419
減価償却累計額	△316	△335
工具、器具及び備品(純額)	50	84
土地	119	119
リース資産	1,751	1,368
減価償却累計額	△1,075	△946
リース資産(純額)	676	421
建設仮勘定	517	414
有形固定資産合計	13,410	12,708
無形固定資産		
のれん	49	34
特許権	205	255
リース資産	121	74
その他	414	429
無形固定資産合計	790	793
投資その他の資産		
投資有価証券	203	174
長期前払費用	11	10
前払年金費用	319	290
繰延税金資産	180	167
その他	345	372
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,059	1,013
固定資産合計	15,260	14,515
資産合計	54,250	54,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,992	11,610
短期借入金	7,705	11,643
1年内返済予定の長期借入金	3,200	1,500
リース債務	380	229
未払法人税等	201	71
未払費用	2,626	2,218
前受金	435	627
役員賞与引当金	34	32
受注損失引当金	119	112
資産除去債務	11	11
その他	393	538
流動負債合計	27,100	28,597
固定負債		
長期借入金	500	1,000
リース債務	439	289
長期未払金	21	21
退職給付引当金	5,211	5,374
役員退職慰労引当金	23	7
修繕引当金	406	427
資産除去債務	31	32
長期預り保証金	3,022	3,022
固定負債合計	9,657	10,176
負債合計	36,758	38,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,995	9,995
利益剰余金	2,426	925
自己株式	△1,719	△1,720
株主資本合計	17,463	15,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	4
為替換算調整勘定	△1	△64
その他の包括利益累計額合計	28	△59
純資産合計	17,492	15,902
負債純資産合計	54,250	54,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	29,590	28,163
売上原価	23,882	22,423
売上総利益	5,707	5,739
販売費及び一般管理費	7,380	6,669
営業損失(△)	△1,672	△929
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	3	3
受取賃貸料	87	74
負ののれん償却額	29	—
為替差益	—	63
固定資産売却益	—	71
貸倒引当金戻入額	133	17
その他	69	40
営業外収益合計	327	279
営業外費用		
支払利息	134	141
為替差損	32	—
固定資産廃棄損	6	5
その他	114	63
営業外費用合計	287	211
経常損失(△)	△1,632	△860
特別利益		
負ののれん発生益	34	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
事業構造改善費用	172	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	46	—
特別損失合計	218	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,815	△860
法人税、住民税及び事業税	136	90
法人税等調整額	309	450
法人税等合計	445	541
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,261	△1,401
少数株主損失(△)	△123	—
四半期純損失(△)	△2,138	△1,401

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,261	△1,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△25
為替換算調整勘定	△37	△62
その他の包括利益合計	△43	△88
四半期包括利益	△2,305	△1,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,263	△1,489
少数株主に係る四半期包括利益	△41	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	13,476	13,432	1,316	1,364	29,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	120	—	—	128
計	13,484	13,552	1,316	1,364	29,719
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△861	△693	△241	620	△1,175

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,175
全社費用(注)	△334
その他	△122
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△1,632

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	合計
売上高					
外部顧客への売上高	17,136	8,461	1,268	1,296	28,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	127	0	—	143
計	17,152	8,589	1,269	1,296	28,307
セグメント利益又はセグメント損失(△)	459	△1,433	△101	560	△515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△515
全社費用(注)	△301
その他	△43
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△860

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 地域ごとの売上高

(単位：百万円)

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
国内		15,980 (54%)	16,806 (60%)
海外	北東アジア	12,480 (42%)	10,194 (36%)
	その他	1,129 (4%)	1,163 (4%)
	計	13,610 (46%)	11,357 (40%)
総計		29,590	28,163

(注) () 内は構成比率